



2025年度

草深48号線1号橋

福山市 沼隈 町 地内

橋梁修繕工事 実施設計書

	当初設計	第1回変更
	工事概要	工事延長 L=4.0m 橋長 L=3.1m~4.0m 有効幅員 W=6.15m~11.0m 断面修復工 A=10m ² 表面含浸工 A=18m ² 仮設工 一式

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（草深48号線1号橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第6節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第7節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第3節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正值を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第4節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
 - ・内容：仮締切工・水替工

第5節 建設副産物について

- (1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。
 - 1 建設廃棄物処理計画書
 - ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
 - ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
 - ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
 - ・各処分場の現地確認写真
 - ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し
 - 2 再生資源利用計画書
 - 3 再生資源利用促進計画書
- (2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。
 - 1 再生資源利用実施書
 - 2 再生資源利用促進実施書
 - 3 建設廃棄物処理実施書
 - ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
 - ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第3章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 74 福山市(沼隈) 00-07.08.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co ……コンクリート As ……アスファルト DT ……ダンプトラック BH ……バックホウ CC ……クローラクレーン TC ……トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
排水施設工	1	式			Y1G032103 レベル3
水切り	1	式			Y4900 レベル4
水切り材 橋梁床版用後付け型水切 1橋当り20m未満	1	橋			V0000001001 00 単第0 -0001 表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】		構造物			Y1G03240501 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.496m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0002 表
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工) [無]DID区間 運搬距離_9.5km以下(7.5km超)	0.5	m3			S1020051 00 単第0 -0003 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻受入費 無筋	1	t			F0000001002 00
表面保護工	1	式			Y2900 レベル2
表面含浸工	1	式			Y3900 レベル3

本工事費 内訳表

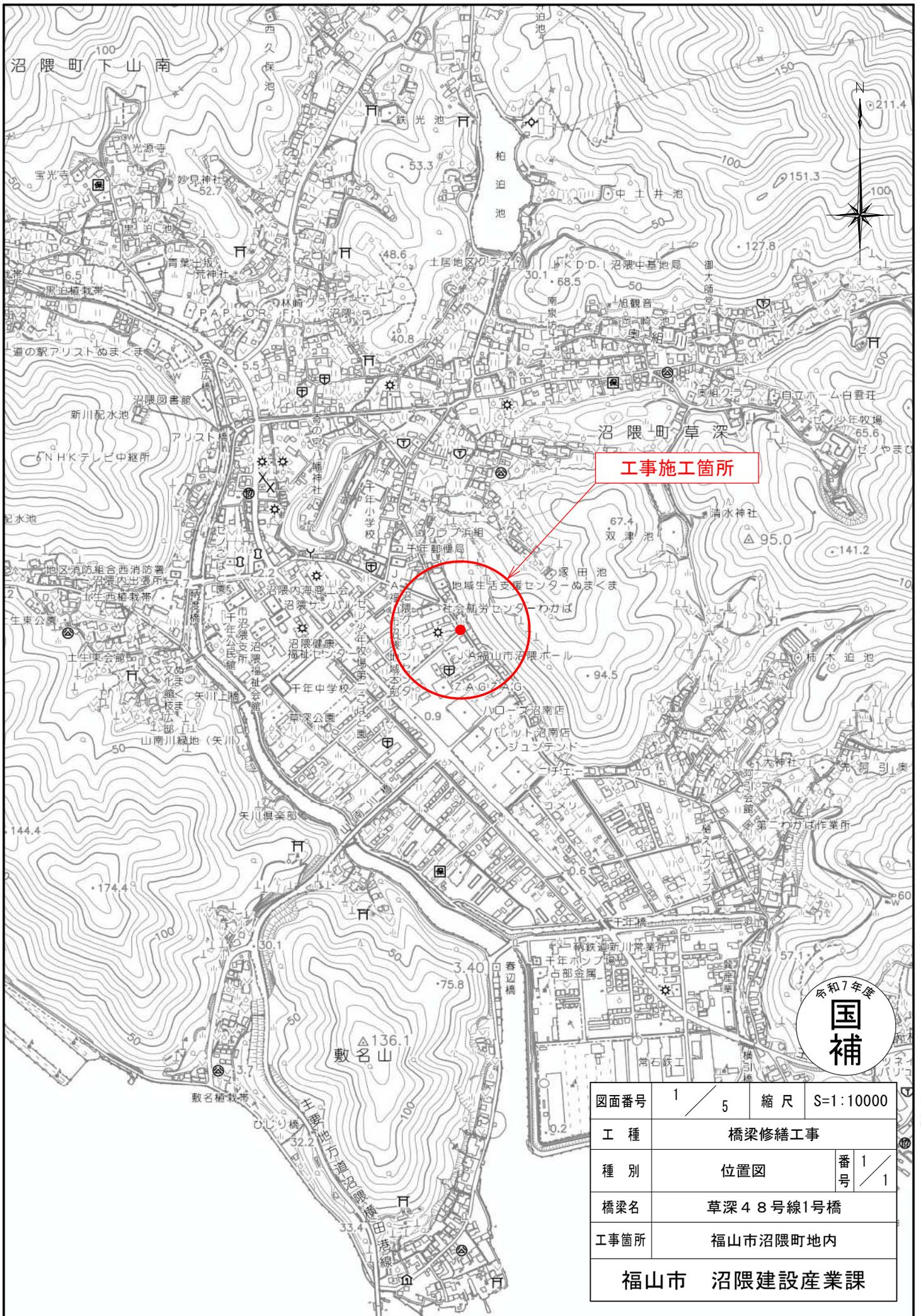
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面含浸 表面含浸					Y4900 レベル4
表面含浸工 下地処理 サンダーケレン 時間制約無 高所作業車無	1	橋			V0000001002 00 1橋当り10m2以上20m2未満 単第0 -0005 表
表面含浸工 簡易清掃 高圧水洗い 時間制約無 高所作業車無	1	橋			V0000001003 00 1橋当り10m2以上20m2未満 単第0 -0006 表
表面含浸工 ケイ酸ナトリウム系含浸材 (RCGインナーシ 時間制約無 高所作業車無	18	m2			V0000001004 00 1橋当り10m2以上20m2未満 単第0 -0007 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
土留・仮締切工	1	式			Y1J010104 レベル3
土のう積	1	式			Y1J01010420 レベル4
仮締切(土のう積)工 小口並べ	0.6	m2			S1012 00 単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水替工	1	式			Y1J010108 レベル3
暗渠排水管		m			Y1J01010803 レベル4
暗渠排水管 据付・撤去 波状管 50～150mm ダブル 合成樹脂排水材 呼び径150mm	12	m			SPK25040093 00 単第0 -0009 表
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	17	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

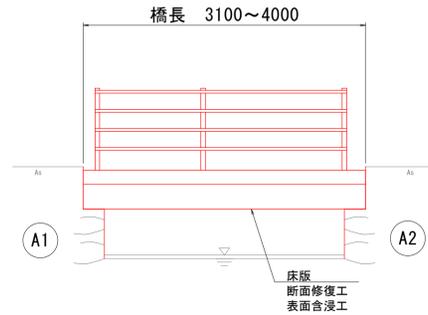
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					



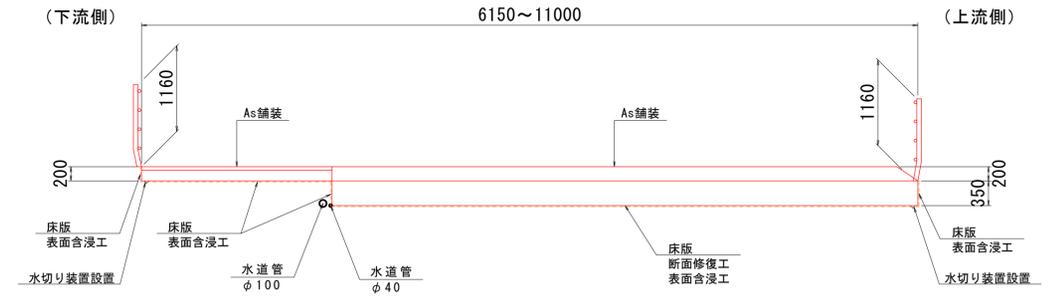
図面番号	1 / 5	縮尺	S=1:10000
工種	橋梁修繕工事		
種別	位置図	番号	1 / 1
橋梁名	草深48号線1号橋		
工事箇所	福山市沼隈町地内		
福山市 沼隈建設産業課			

草深48号線1号橋 補修一般図

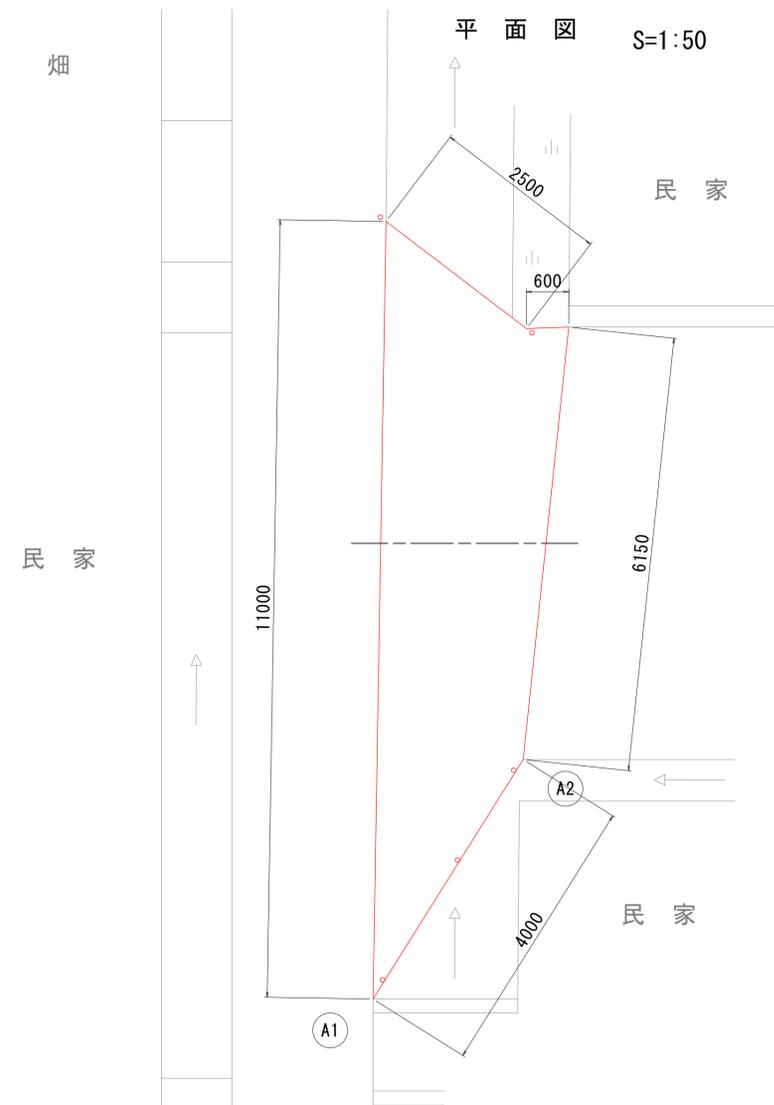
側面図 S=1:50



断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



橋梁諸元	
橋梁名	草深48号線1号橋
所在地	福山市沼隈町
路線名	草深48号線
架橋年度	1970年
適用示方書	不明
活荷重・等級	不明
上部工形式	単純RC床版橋
下部工形式	ブロック積橋台、石積橋台
基礎工形式	直接基礎
路下条件	水路
橋長	3.1~4.0m
幅員	全幅員 6.15~11.0m
点検履歴	2020年 12月
補修履歴	なし

補修工一覧表

部位	工種	
床版	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	表面含浸工	ケイ酸ナトリウム系含浸材
	水切り構造設置	

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。



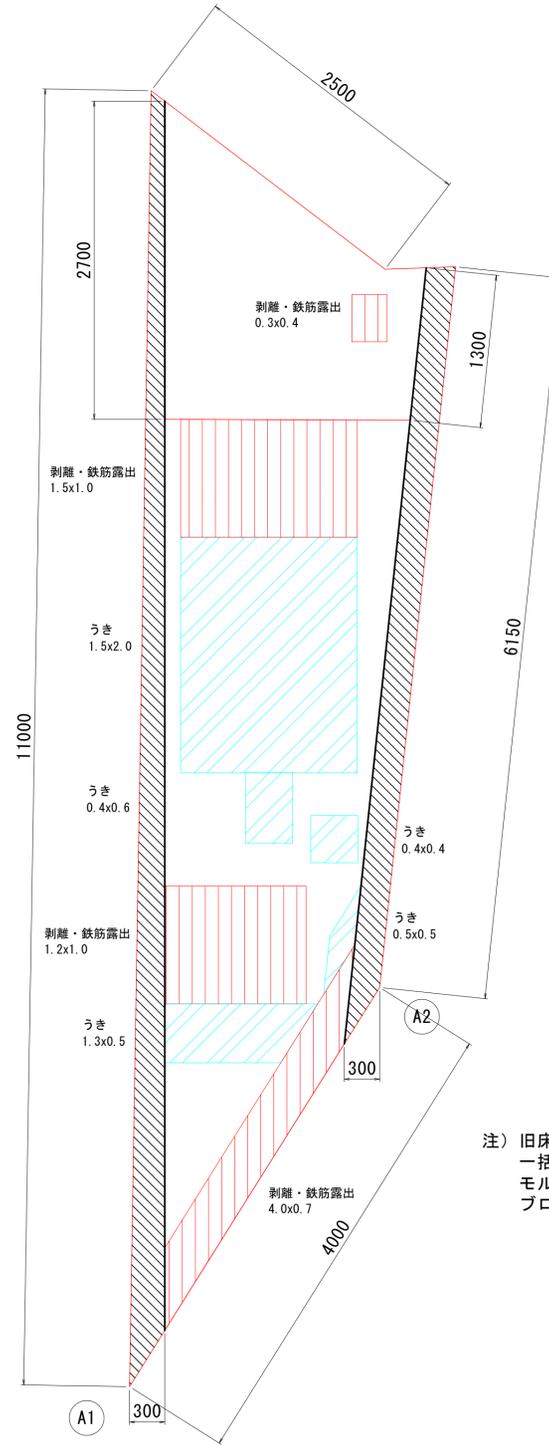
図面番号	2 / 5	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修一般図	番号	1 / 1
橋梁名	草深48号線1号橋		
工事箇所	福山市沼隈町地内		
福山市 沼隈建設産業課			

※この図面は縮小しています: A1-A3

草深48号線1号橋 補修図 (その1) S=1:30

(床版: 断面修復工)

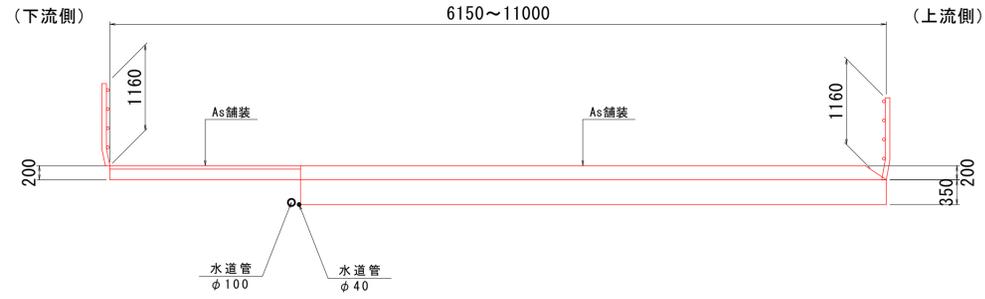
平面図



注) 旧床版は広範囲の鉄筋露出、うき損傷が見られ、断面修復範囲は広範囲となる。
一括施工の場合、橋梁耐力の著しい低下が想定されるため、分割施工を行い、
モルタル硬化を確認後、次の施工を行うのがよい。
ブロック数、位置に関しては、床版状況を確認のうえ、決定すること。

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

断面図 S=1:50



補修工法凡例

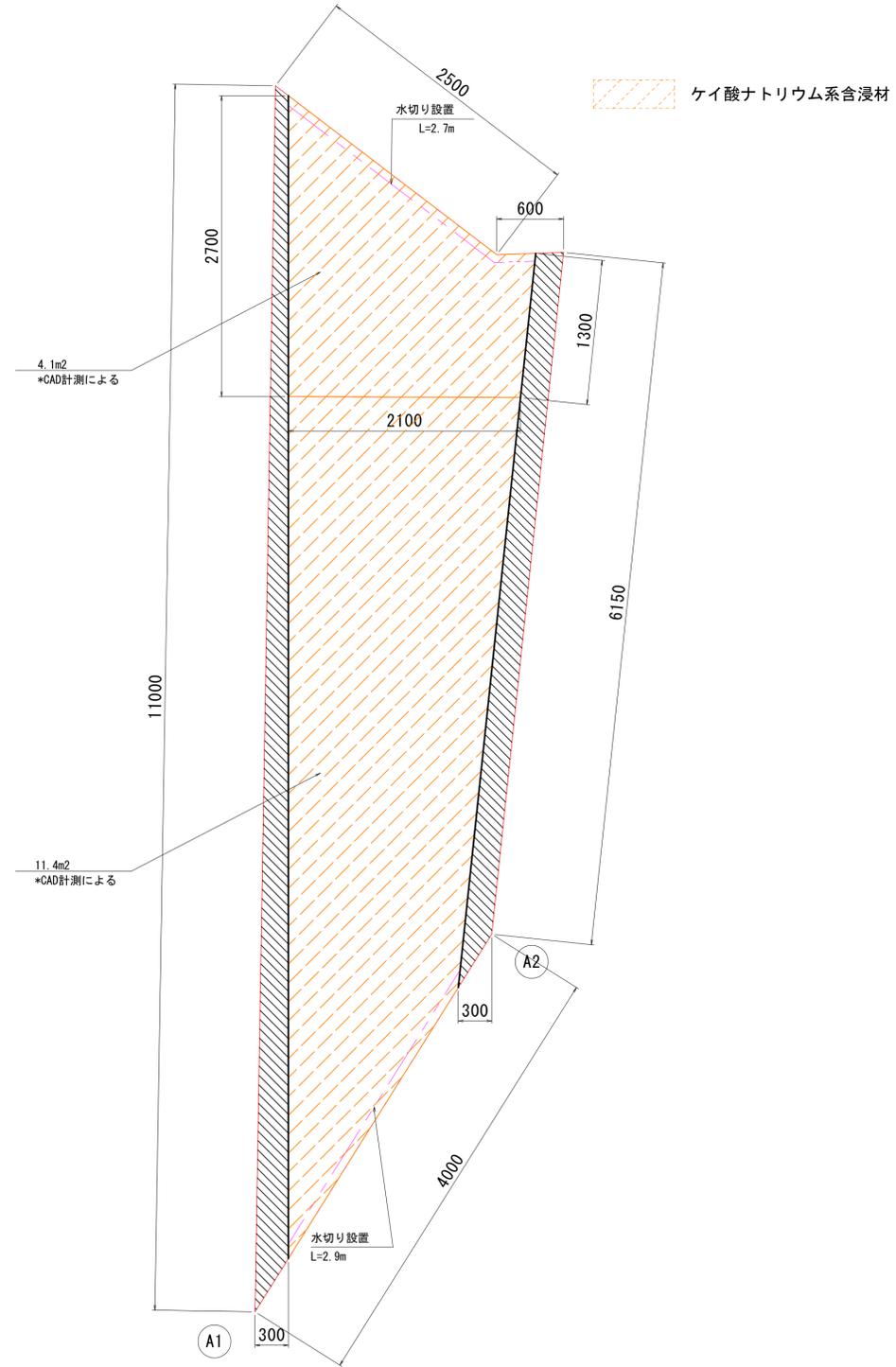
損傷	記号	補修対策工
剥離・鉄筋露出 図中の数値は幅 x 高さ (m) を示す。		断面修復工 (修復深さ5cm)
うき 図中の数値は幅 x 高さ (m) を示す。		

図面番号	3 / 5	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その1)	番号	1 / 1
橋梁名	草深48号線1号橋		
工事箇所	福山市沼隈町地内		
福山市 沼隈建設産業課			

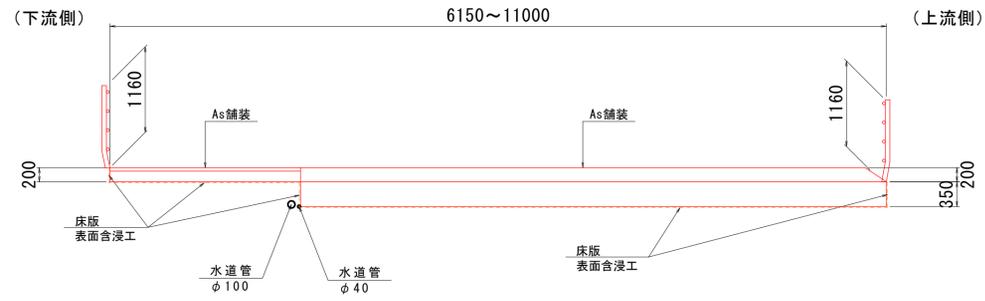
草深48号線1号橋 補修図 (その2) S=1:30

(床版: 表面含浸工、水切り装置設置)

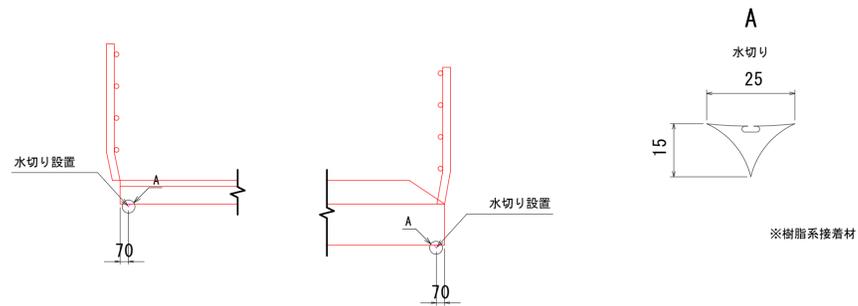
平面図



断面図 S=1:50



水切り構造詳細図

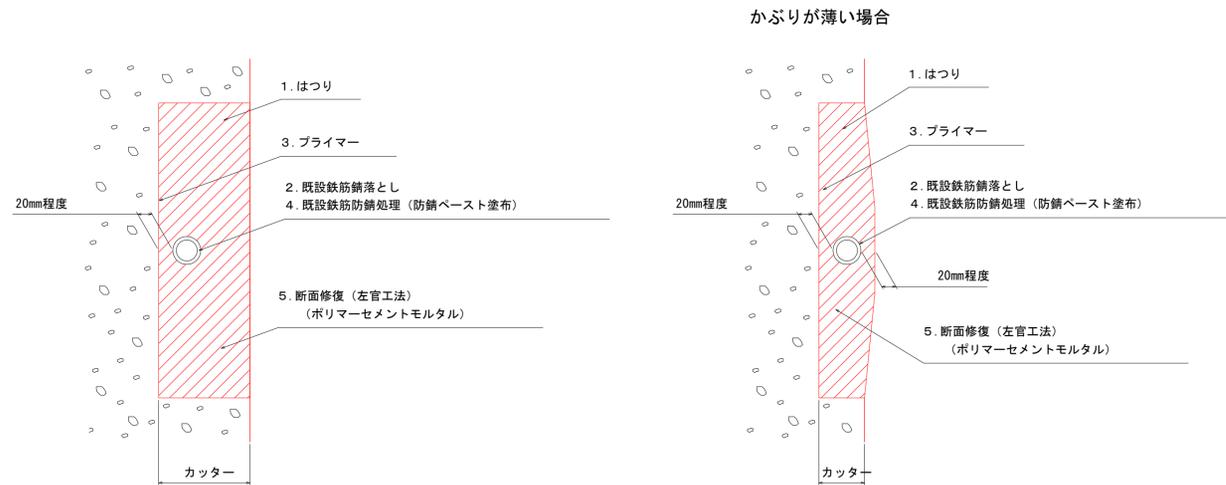


注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

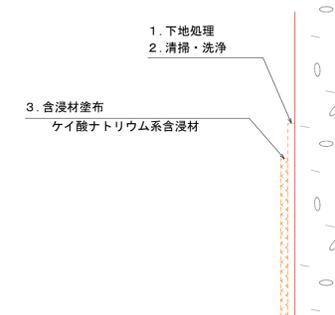
図面番号	4 / 5	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その2)	番号	1 / 1
橋梁名	草深48号線1号橋		
工事箇所	福山市沼隈町地内		
福山市 沼隈建設産業課			

草深48号線1号橋 補修要領図

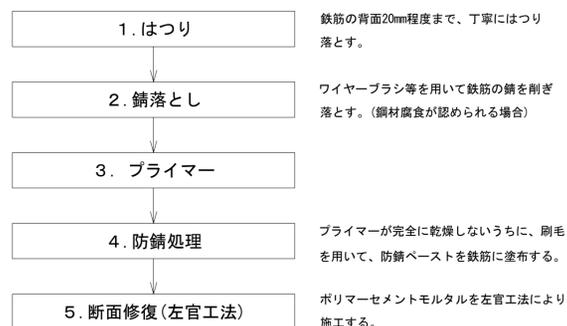
断面修復工



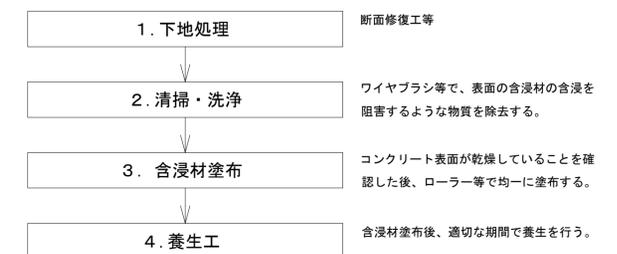
表面保護工



断面修復工 フローチャート



表面含浸工 フローチャート



図面番号	5 / 5	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修要領図	番号	1 / 1
橋梁名	草深48号線1号橋		
工事箇所	福山市沼隈町地内		
福山市 沼隈建設産業課			

※この図面は縮小しています: A1-A3

こ れ 以 降
参 考 図 書

施工単価表

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル・4 t 積級

S9050

単第0 -0004 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.20	L			
運転手(一般)	0.89	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.02	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.02	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 C=19.2 E=1 G=0	オンロード・ディーゼル・4 t 積級 軽油消費量 (L / 日) 路面状況：良好 労務単価の夜間等割増率		B=0.89 D=1.02 F=1	運転労務数量 (人 / 日) 機械損料数量 (供用日 / 日)	

施工単価表

表面含浸工

V0000001004

単第0 -0007 表

ケイ酸ナトリウム系含浸材（RCGインナーシ

時間制約無

高所作業車無

1橋当り10m2以上20m2未満

10

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.13	人			
特殊作業員	0.13	人			
普通作業員	0.38	人			
塗装工	0.38	人			
ケイ酸ナトリウム系含浸材 RCGインナーシリカ相当品 標準使用量0.2kg/m2	2.2	kg			
<賃>ダンプトラック 積載質量2t	0.13	日			
諸雑費	20	%			#09
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

暗渠排水管

SPK25040093

単第0 -0009 表

据付・撤去 波状管 50～150mm

ダブル 合成樹脂排水材 呼び径150mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

38.00% 材料構成比: 62.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,169.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	26.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.93%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <ダブル構造>内面平滑管(有孔・無孔) 呼び径150mm	62.00%		暗渠排水管 波状管 呼び径75mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPCD0257 TTPT00190
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=1 50～150mm F=1 継手材料費要 H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算			B=3 波状管 D=18 ダブル 合成樹脂排水材 呼び径150mm G=2 期間3ヶ月未満(損料率0.2) I=1 -(全ての費用)		
【管材料単価】					
管材料単価(円) * (材料損料率 + (材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算))					

補修橋補修数量計算

草深48号線1号橋

§ 1. 補修数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	床 版	合 計
断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	平面積	m ²	9.920	9.920
			断面修復工	m ³	0.496	0.496
	殻運搬・処理	Co殻		m ³	0.496	0.496
				t	1.165	1.165
表面保護工	表面含浸工	下地処理	面積	m ²	18.26	18.26
		ケイ酸ナトリウム系	面積	m ²	18.26	18.26
水切り工	水切り装置		延長	m	5.60	5.60

§ 2. 断面修復工数量計算

2-1. 上部工

2-2-1. 床版

(1) 剥離・鉄筋露出

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 50 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
床版01	0.30	×	0.40	×	1	=	0.120	1.400	0.120	×	0.05	=	0.0060	下面
床版02	1.20	×	1.00	×	1	=	1.200	4.400	1.200	×	0.05	=	0.0600	〃
〃	1.50	×	1.00	×	1	=	1.500	5.000	1.500	×	0.05	=	0.0750	〃
〃	4.00	×	0.70	×	1	=	2.800	9.400	2.800	×	0.05	=	0.1400	〃
合計						4	5.620	20.200				0.281		

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積)	=	5.620	m ²
カッター延長	=	20.200	m
はつり工	=	0.281	m ³
プライマー工	=	5.620	m ²
断面修復 (体積)	=	0.281	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.281	m ³
	W = 0.281 × 2.35	=	0.660 t

(2) うき

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 50 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
床版02	0.40	×	0.40	×	1	=	0.160	1.600	0.160	×	0.05	=	0.0080	下面
〃	0.40	×	0.60	×	1	=	0.240	2.000	0.240	×	0.05	=	0.0120	〃
〃	0.50	×	0.50	×	1	=	0.250	2.000	0.250	×	0.05	=	0.0125	〃
〃	1.30	×	0.50	×	1	=	0.650	3.600	0.650	×	0.05	=	0.0325	〃
〃	1.50	×	2.00	×	1	=	3.000	7.000	3.000	×	0.05	=	0.1500	〃
合計						5	4.300	16.200				0.215		

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積)	=	4.300	m ²
カッター延長	=	16.200	m
はつり工	=	0.215	m ³
プライマー工	=	4.300	m ²
断面修復 (体積)	=	0.215	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.215	m ³
	W = 0.215 × 2.35	=	0.505 t

(3) 断面修復工集計表 (床版)

床版	単位	剥離・鉄筋 露出	うき	合計
断面修復工(面積)	m ²	5.620	4.300	9.920
カッター延長	m	20.200	16.200	36.400
はつり工	m ³	0.281	0.215	0.496
プライマー工	m ²	5.620	4.300	9.920
断面修復工(体積)	m ³	0.281	0.215	0.496

殻運搬・処理	m ³	0.281	0.215	0.496
	t	0.660	0.505	1.165

§ 3. 表面保護工数量計算

3-1. 床版 :ケイ酸ナトリウム系

(1) 含浸面積

床版01	a1=	CAD計測		=	4.100 m ²
床版01左側面	a2=	3.100	× 0.200	× 1	= 0.620 m ²
床版02	a3=	CAD計測		=	11.400 m ²
床版02左側面	a4=	2.100	× 0.350	× 1	= 0.735 m ²
床版02右側面	a5=	4.000	× 0.350	× 1	= 1.400 m ²
					Σ A = 18.26 m ²

(2) 表面保護工集計表 :ケイ酸ナトリウム系

床版	単位	合計
下地処理	m ²	18.26
表面含浸工	m ²	18.26

§ 4. 水切り構造設置数量計算

4-1. 床版下面

(1) 水切り装置

$$\text{床版下面 } L1 = 2.700 + 2.900$$

$$= 5.60 \text{ m}$$

$$\Sigma A = 5.60 \text{ m}$$

(2) 樹脂系接着剤

$$a1 = 5.60 \times 0.025$$

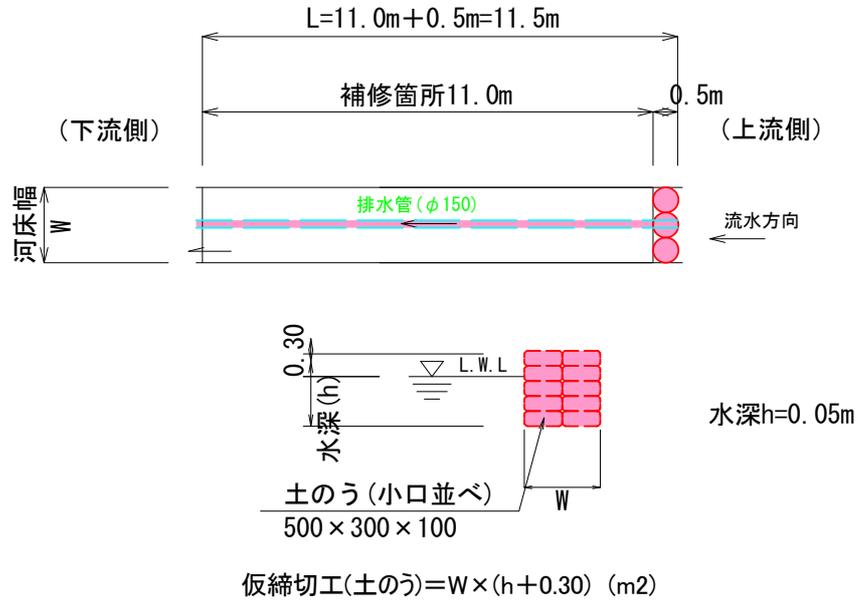
$$= 0.14 \text{ m}^2$$

(3) 水切り構造設置集計

水切り工	単位	床版下面
水切り装置	m	5.60
樹脂系接着剤	m ²	0.14

仮締切工・水替工

※仮締切工・水替工は任意仮設とする



排水管φ150 L=11.5m

土のう積

(上流側) $A=1.7 \times (0.05+0.30)=0.60\text{m}^2$

図面番号	1 / 1	縮尺	—
工種	橋梁修繕工事		
種別	仮設工(参考図)	番号	1 / 1
橋梁名	草深48号線1号橋		
工事箇所	福山市沼隈町地内		
福山市 沼隈建設産業課			